

情報発信等戦略の期間
令和4年度～令和7年度まで
情報発信等戦略
① 情報発信の内容 未だ根付く残る原発災害の風評に対して、フィールドや食の安全性と本町の魅力を掛け合わせた相乗効果を全国に向けて情報発信をすることで風評払しょくに繋げていく。 具体的には、本町の日本最大級山城である国指定史跡向羽黒山城跡とコーエーテクモゲームスの人気ゲーム「信長の野望」をコラボレーションし、ゲームのキャラクターや音楽を使用した特設サイト等を構築し、影響力がある歴史系ユーチューバーや歴史雑誌を介して、ブームが続いている山城ファンや歴史ファンを中心とした訴求力の強化と安全安心の誘客を図る。 令和4年度からコラボレーションした特設サイトやガイドアプリの構築を進め、令和5年度には、ガイドアプリのエリア拡張やAR（拡張現実）の実装、ゲームキャラクターをコラボした御城印やのぼり旗、冬のモニターツアーや雑誌『歴史街道』への連載など、情報発信の多様化を図ってきた。 令和6年度は、山城まつりに歴史系人気ユーチューバーとそのファンを招聘し、スポーツチャンバラのような模擬合戦を実施し、ライブ中継し祭りの臨場感を届けた。また、初めて全国山城サミット連絡協議会島根県益田市大会に参加し、山城を有する自治体や参加した歴史ファンに向けて向羽黒山城の存在感をPRするとともに、観光大使に「信長の野望」とコラボレーションした特別名刺の配布をお願いし、豊富な人脈を活かした広報活動をお願いした。 令和7年度は、山城まつりのライブ中継の充実化、全国山城サミット連絡協議会石川県白山大会、お城エキスポにおいて、これまで培ってきた「信長の野望」とのコラボレーションして磨き上げてきた本町の向羽黒山城とフィールドや農産物の安全性を合わせてPRし、安心安全な環境であることを理解いただき、風評払拭と誘客に繋げていく。 ② 会津美里町の情報発信体制 一般社団法人会津美里町観光協会（以下「観光協会」）と会津美里町産業振興課商工観光係が同等で主体となり、観光振興及び風評払拭にむけて情報発信を実施していく。観光協会が、情報発信の実働部隊として機能し、向羽黒山城を含めた観光情報を、自らのホームページ、インスタグラムを中心にメディアミックスしながら発信していく。 ③ 情報発信等の戦略目標 本事業の戦略目標は、「人気ゲームを介して向羽黒山城の魅力を発信することで、新たな誘客に結びつけ、地域の振興につなげる」である。 【令和7年までの数値目標】 A 向羽黒山城跡、入場者数を年間2,000人 B 御城印状の累計売上数 5,000枚 C 向羽黒山城専用サイト訪問者数、累計5,000人 D 向羽黒山城跡利活用団体の創出 1団体 E 向羽黒山城跡関連経済効果、今よりも1,000万円増（協力事業者に売上の推移観察を要請）

④ 全体工程表	
【行程表】	
R4	4-1 向羽黒山城専用サイト 4-2 山城案内アプリ運用
R5	5-1 友好都市台東区と協力してのモニターツアーの実施 5-2 信長の野望御城印状スタンプラリー 5-3 雑誌「歴史街道」への連載
R6	6-1 向羽黒山城まつりシンポジウム及び攻城戦ライブ配信 6-2 観光大使による山城名刺配布 6-3 第31回全国山城サミット島根県益田市大会でのPR 6-4 雑誌「歴史街道」への特集広告
R7	7-1 フィールド安全実感の向羽黒山城まつりライブ配信 7-2 農産物の安全性PRの第32回全国山城サミット白山大会へのブース設置 7-3 農産物の安全性PRのお城エキスポ2025へのブース設置
【対象市町村等が独自に行う情報発信等に関する取組との連携】 上記の取組を、新聞や町ホームページ、豊富な人脈や広報力を有する観光大使を通じてフィールドと食の安全性と合わせて山城の魅力をPRしていく。	